

2013年7月19日



損害賠償の概念

香港でのビジネスで、契約違反により一体どんな賠償がもらえるだろう？ 英国や香港などの英語圏では、法典ではなく、裁判官により決められるコモンローにより損害賠償のルールが定められている。

香港でのビジネスで、契約違反の場合、被害者がどの程度賠償金がもらえるかどうかというのとは、裁判所の標準として、「もしも裁判所がきちんと履行したらどうなるか」という観点から考えられる。

例えば、Aが1時間当たり100ドルの費用でB（内装職人）の10時間分を予約し、6月1日に家の修理契約をしたとする。もし、Aが自分の都合により予約を勝手にキャンセルした場合、BがAに請求出来る賠償金は1,000ドルになる。一般的に言え

る。逆に、6月1日にBができるたキャンセルし、やむを得ず、AはBに月末までに1時間の修理をやらせた。そん

港では認められない。例えば、AはBに月末までに1台のテレビ(1,000ドル)

を配送する契約をした。しかしAは約束通り月末までに出荷できなかつた場合、Bは実質的損害賠償金(1,000ドル)を請求できる。

賠償金の種類

香港ではさまざまな種類がある。例えば①実質的損害賠償金(actual damages)②懲罰賠償金(punitive damages)③名目賠償金(nominal damages)

名目賠償金とは、被害者が「金銭的には」被害をあまりないと判断し、300ドルの賠償金は認めないとされる。もし、BがAに500ドル請求する場合、その400ドル分は懲罰賠償となり、裁判所に認められない。

AはBに正式な謝罪とともに名目賠償金を払うこととなる。

賠償金の計算基準

それは悪質な事件が2度と起こらないように、裁判所がわざと加害者に懲罰的に多めに払わせるためである。例えば、コスト削減の関係性とは先のテレビの例で、例えば、テレビが配達されなかつたために、重要な経済番組を見逃し、そのため、有害成分が入った粉ミルクを1缶25ドルで販売していた。その場合は裁判所の判決は25ドルではなく3,000ドル落ちた。将来、もし契約に違反した場合、それがどれくらい

く、1,000ドルなどの懲罰的賠償金を払わせる。

裁判所は恐らくその300ドルの請求はあまりに被害と遠すぎ、関係性があんまりないと判断し、300ドルの賠償金は認めないだろう。ただし、契約該当者が制限を設定したい時に用いられ、懲罰的でない限り、通常、裁判所に認められる。

(1)のシリーズは月1回掲載します。

この損を請求した。この場合、の被害になるのかをあらかじめ契約書に規定賠償金条文などの項目で記載しておいて、損害の計算が難しいときや契約該当者が制限を設定したい時に用いられ、懲罰的でない限り、通常、裁判所に認められる。

の損を請求した。この場合、の被害になるのかをあらかじめ契約書に規定賠償金条文などの項目で記載しておいて、損害の計算が難しいときや契約該当者が制限を設定したい時に用いられ、懲罰的でない限り、通常、裁判所に認められる。

ANDY CHENG
弁護士 アンディ・陈法律事務所代表
米系法律事務所から独立し開業。企業向けの法律相談・契約書作成得意としている。香港大学法律学科卒業。慶應義塾大学へ留学後、在香港日本国総領事館勤務の経験もあり日本語堪能トロ相談員も務めている。日本語堪能



契約違反の解決方法とは

筆者紹介

ANDY CHENG

弁護士 アンディ・陈法律事務所代表
米系法律事務所から独立し開業。企業向けの法律相談・契約書作成得意としている。香港大学法律学科卒業。慶應義塾大学へ留学後、在香港日本国総領事館勤務の経験もあり日本語堪能トロ相談員も務めている。日本語堪能